

ようこそ先輩プロジェクト

日本の社会で頑張っている、外国につながりを持つ若者を学校に紹介します

外国につながりを持つ子どもたちの中には、日本の学校で、差別や偏見、いじめに遭い、つらい思いをしている子もいます。2010 年秋、小学6年生の女の子が、母親がフィリピン人であることを理由にいじめに遭い、自ら命を絶った事件は、本当に悲しいできごとでした。

子どもたちが、そんな思いをすることなく、のびのびと毎日を過ごすことのできる環境をつくっていくのは、私たち大人の責任です。

日本の学校の中で孤独を感じている子どもたちにとって、自分と同じような経験を持ちながら、それを乗り越えてきた「先輩」の話が、とても大きな励ましになることがあります。

K-DECでは、かつて、日本語がわからず、教室で一人ぼっちだった経験を持ちながら、今は社会人として生き生きと暮らしている20代～30代の若者たちを、国際理解教育、人権教育、キャリア教育の講師として、神奈川県内の学校へ紹介（派遣）します。

もちろん、学校（クラス）の状況によっては、単に講師を呼ぶだけではなく、事前の準備や事後のフォローを十分に行わないと、そうした特別な授業が、かえって逆効果になってしまう場合も考えられます。K-DECでは、担当の先生方と打合せをしながら、子どもたちのために、丁寧な授業作りをしていきたいと考えています。

まずは、気軽にご相談ください。

2012年度 事業計画書より

「ようこそ先輩」プロジェクト

外国につながりを持つ子どもたちがいる学校へ、彼／彼女たちの「先輩」の立場にある外国人の青年を講師として派遣する。その際、必要に応じて、K-DECのスタッフがワークショップの進行等を担当する。

学校側が十分な講師謝金を出せない場合は、K-DECがそれを負担する。

回数	年回5回程度
対象	外国につながりを持つ児童・生徒が在籍する、神奈川県内の小・中・高等学校
内容	外国につながりを持つ青年（社会人、大学生等）の体験談と子どもたちへのメッセージ

※必要に応じて、K-DECのスタッフがワークショップの進行等を担当する

問合せ先 かながわ開発教育センター（K-DEC） 事務局（担当：木下）

TEL 090-1806-8532

メール kanagawa_dec★ybb.ne.jp ※★を@に変えて送ってください。